

関西日米婦人会 35周年祝う 中央区で催し 米国総領事も出席



名誉会長に就任したカネグスケ氏（左）と
リネハン氏＝神戸ポートピアホテル

関西で暮らす日米の女性でつくる関西日米婦人会が30日、中央区の神戸ポートピアホテルで35周年を祝う催しを開いた。在大阪・神戸米国総領事のパトリック・リネハン氏が駆け付け、これまでの活動をたたえた。

同会は1977年、当時の米国総領事夫人が関西で国際交流や奉仕活動を根付かせようと設立。福祉施設や大規模災害への寄付、女子学生への奨学金支給を続けており、米中枢同時テロや東日本大震災の被災地への義援

金などこれまでに約1億1千万円を送った。

この日は、和太鼓演奏や新たな名誉会長のお披露目があった。会長は伝統的に総領事夫人が務めるが、リネハン氏は同性婚を公表しており、夫であるエマーソン・カネグスケ氏が男性で初めて名誉会長に就いた。カネグスケ氏は「35年間の活動のおかげで、日本と米国は強く理想的な関係になった。今後も活動を発展させたい」と抱負を語った。

（小西博美）